

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	各種施設のバリアフリー化
節	.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	17 各種施設のバリアフリー化	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡観光協会、佐渡汽船株、新潟交通佐渡株、株ゴールデン佐渡
事業概要	<p>[事業目的] 各種施設のバリアフリー化により、高齢者等の利便性向上を図る。</p> <p>[事業内容] 公共施設及び公共交通施設等の現状調査を実施し、エレベーターやエスカレーターの整備など各種施設のバリアフリー化を推進する。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>[29年度計画] 関連公共施設に対しバリアフリー実態調査を実施する。</p> <p>[29年度実績] 「ユニバーサルツーリズムに対応した観光地づくり(バリアフリー観光地づくり)のための地域の受入体制強化マニュアル」(平成26年3月観光庁作成)を参考にアンケートを実施した。</p>		
課題・今後の取組	<p>[課題] 改修を行うためには予算措置が必要であり、各団体での整備計画作成が必要である。</p> <p>[今後の取組] 各施設の整備状況を確認し、改修を行うためには多額の予算措置が必要であり、各団体の計画作成に向けて団体との意見交換を行う。</p>		
事業評価	<p>[事業の達成度] { a・b・c } ほぼ当初計画どおり、実態調査を実施したことからBとした。</p> <p>[事業実施の効果] { a・b・c }</p> <p>[総合評価] { A・B・C }</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。